

# 成·壽

SEIJU

2014年  
第44卷

冬号







■ 開山忌  
■ 第二十七回 育英会辞令交付式



黒田博志住職



本寺光真寺住職 黒田泰弘老師

## 開山忌並びに育英会辞令交付式

善光寺開山忌、並びに第二十七回育英会辞令交付式が平成二十六年二月七日午後二時から、釈迦殿で執り行われ、関係のご寺院、総代をはじめ檀信徒の方々が多数参列されました。

開山忌の法要は本寺の大田原市・光真寺ご住職、黒田泰弘老師を導師にお迎えし、開山棟庵白純大和尚、二世中興大圓武志大和尚のご遺徳を偲んで追善の誠を捧げました。

引き続き辞令交付式に移り、育英会理事の安藤嘉則老師が選定経過を報告しました。その中で新しく育英生に採用された中国人留学生の李子捷(り・ししょう)さん(26)について「李さんの専門は『唯識』を中心とした学問です。出身地の西安は昔の長安で、法相宗の開祖、玄奘三蔵がここからインドへ旅に出て、ナーランダ大学で唯識を学んで帰られた。その長安から



日本へ学びに来た李さんの業績は、ずば抜けており、今後の大成を願っています」と期待を込めて紹介されました。

黒田博志住職の導師により育英会報恩供養が営まれた後、李さんに育英会理事長の黒田住職から辞令、育英金、記念品が授与されました。

黒田住職は「開山忌は先代住職の師匠が最も大事にし、心を尽くして修めてきた行事です。今回、大変優秀な方とご縁を結ばせていただきました。育英会は師匠が海外での修行体験をもとに、多くの方々との仏縁に感謝し、そのご恩返しとして世界平和に尽くしたい、若い人たちにもこの仏縁を経験してもらいたいとの誓願を立て、設立された事業です」と育英会設立の根本にある先代住職の願いを伝え、自身も師匠の言葉を胸に刻んで日々精進しているとの心情を吐露して育英生を励ましました。

■節分追儺法会 平成二十六年二月三日

恒例の豆まきで大賑わい

「福はうちー!、福はうちー!」今年、年、皆さ

まの招福ご多幸をご祈念致しました。

好天に恵まれ、今年も友綱部屋の力士衆によるちゃんこ鍋も振舞われ賑々しい節分会となりました。

友綱部屋、魁聖関かひせいらによる豆まきがあり、大きな体に鬼も逃げ出しました。



魁聖関



ちゃんこ会場



転翻大般若祈祷



巳年の年男男女女の方々



赤鬼さんも一緒に豆まき



熱気あふれる豆まきでした

## ■身代り不動明王大祭

平成26年5月28日



今年の身代り不動明王大祭は尺八と箏による奉納演奏が執り行われました。

尺八は都山流 竹琳軒大師範 遠藤千玖山先生、箏は生田流 筑紫会 飛梅司 大師範 平林歌容先生と同会師範 平林歌美緒先生。

全日本新芸書道会会長である遠藤先生は、善光寺とのご縁も古く、住職がこの大祭に塔けたお袈裟は、三十数年前遠藤先生が亡きお子様のご供養のために般若心経を墨書し善光寺に奉納されたものです。